

# KN グローカルリサーチレポート

2017年1月  
No.9



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。2017年・酉年は、どのような年になるでしょうか。

年末に閣議決定された国の29年度一般会計予算は97.5兆円と過去最高になりました。今後、国会で議論されますが、地方創生に効果のある予算となる事を望みます。

一般財団法人 日本総合研究所の「都道府県 幸福度ランキング」（発行：東洋経済新報社）によると（このランキングは、国の様々な「統計データを加工した数字で順位を決めた」もので、その都市に住む住民が幸せと感じる「アンケート調査」では無い）、浜松市は20政令市中2位となっています。「仕事」や「雇用」、「健康」で順位が高く、「文化」や「教育」で低くなっています。



## 【勤労世帯可処分所得】

|          | 円/月/世帯  |
|----------|---------|
| 1. さいたま市 | 480,026 |
| 2. 川崎市   | 472,654 |
| 3. 静岡市   | 461,729 |
| 4. 京都市   | 460,649 |
| 5. 浜松市   | 448,090 |

## 【正規雇用者比率】

|          | %    |
|----------|------|
| 1. 川崎市   | 68.5 |
| 2. 新潟市   | 67.4 |
| 3. さいたま市 | 66.9 |
| 4. 浜松市   | 66.8 |
| 5. 横浜市   | 66.6 |

## 【平均寿命】

|         | 歳    |
|---------|------|
| 1. 熊本市  | 84.0 |
| 2. 浜松市  | 83.9 |
| 3. 相模原市 | 83.7 |
| 4. 仙台市  | 83.7 |
| 5. 横浜市  | 83.6 |

## 【要介護等認定率】

|          | %    |
|----------|------|
| 1. 千葉市   | 14.6 |
| 2. 相模原市  | 15.0 |
| 3. さいたま市 | 15.4 |
| 4. 浜松市   | 16.1 |
| 5. 静岡市   | 16.3 |

## 【一人あたり市民所得】

|          | 千円    |
|----------|-------|
| 16. 浜松市  | 3,167 |
| 17. 北九州市 | 3,029 |
| 18. 札幌市  | 3,022 |
| 19. 熊本市  | 3,019 |
| 20. 新潟市  | 2,904 |

## 【事業所新設数】

|          | %    |
|----------|------|
| 16. 京都市  | 18.0 |
| 17. 北九州市 | 17.5 |
| 18. 新潟市  | 17.0 |
| 19. 浜松市  | 16.8 |
| 20. 静岡市  | 16.6 |

## 【不登校児童生徒率】

|          | %    |
|----------|------|
| 16. 仙台市  | 1.32 |
| 17. 静岡市  | 1.33 |
| 18. 浜松市  | 1.44 |
| 19. 相模原市 | 1.65 |
| 20. 大阪市  | 1.88 |

## 【大学進学率】

|          | %    |
|----------|------|
| 16. 熊本市  | 54.4 |
| 17. 岡山市  | 54.2 |
| 18. 札幌市  | 53.9 |
| 19. 浜松市  | 52.3 |
| 20. 北九州市 | 50.9 |

\*上表は、一般財団法人 日本総合研究所の「都道府県 幸福度ランキング」の第4章「全指標別ランキング紹介」から、浜松市が含まれる上位の指標と下位の指標を抜粋しました。

これらのランキングから、例えば、浜松市は「勤労者のまち」であることがわかります。市民は健康に気をつけて会社勤めをして、勤労所得を得ています。退職後も年金の範囲内で元気に過ごしてる姿が思い浮かびます。



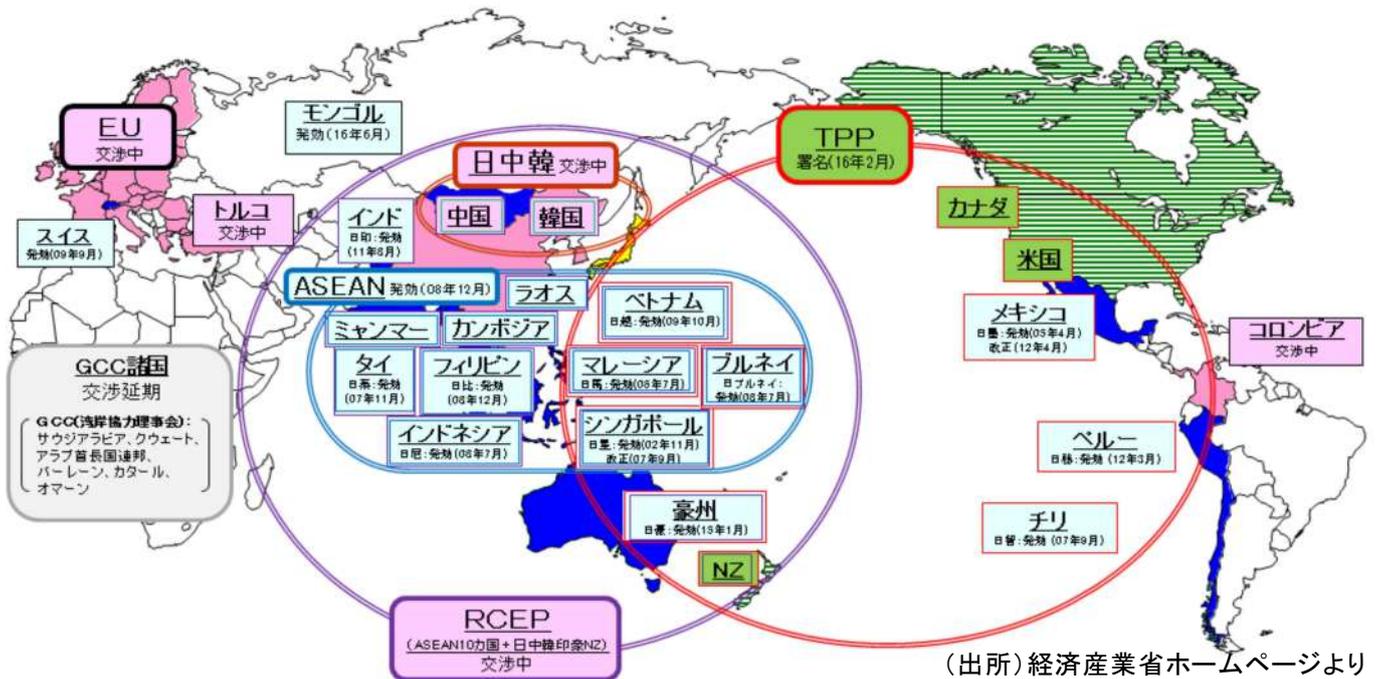
右表は、日本経済新聞社・日経 DUAL が発表した「共働き・子育てしやすいランキング」です。浜松市は162（＝首都圏・中京圏・関西圏の主要市区+県庁所在地+政令市）自治体中48位となっています。認可保育園の料金や、待機児童数、学童保育の充実度等が指標となっており、新宿区など東京都の区や市が上位を占めています。

## 【子育てランキング】

|          |     |
|----------|-----|
| 1. 新宿区   | 72点 |
| 2. 福生市   | 69点 |
| 2. 港区    | 69点 |
| 4. 東大和市  | 67点 |
| 5. 浦安市   | 66点 |
| 6. 船橋市   | 65点 |
| 7. 北九州市  | 64点 |
| 8. 葛飾区   | 63点 |
| 8. 荒川区   | 63点 |
| 8. 千代田区  | 63点 |
| 20. 静岡市  | 56点 |
| 33. 名古屋市 | 53点 |
| 48. 浜松市  | 49点 |
| 48. 福井市  | 49点 |
| 48. 熊本市  | 49点 |
| 48. 渋谷区  | 49点 |

この2つのランキングからも、浜松市は「教育」や「子育て環境の充実」に改善の余地があると思われます。

# RCEP（アールセップ）東アジア包括的経済連携



米国でのトランプ政権の誕生により、TPP（環太平洋経済連携協定）が停滞する中、RCEP：東アジア包括的経済連携（Regional Comprehensive Economic Partnership）を推進する動きが強くなるであろう。



RCEP は2012年11月にASEANが打ち出した構想で、日本、中国、韓国、インド、オーストラリア、ニュージーランドの6カ国が、それぞれASEANと締結しているFTA（自由貿易協定）を一つにまとめるもので、物品貿易とサービス貿易の自由化や投資の自由化を基本的な考え方として、2015年末までの合意を目指していたが、現在も交渉中である。

RCEPが実現すれば、人口約34億人（世界の約半分）、GDP約20兆ドル（世界の約3割）、貿易総額10兆ドル（世界の約3割）を占める広域経済圏が出現し、今後も拡大する消費を背景に世界経済を牽引する地域となる。

日本にとってのRCEPのメリットは、例えば、①日本企業はアジア大洋州地域の各国で生産活動を展開しているので、更に最適な生産の分業が可能となる（サプライチェーンの拡大に寄与する）。②中国やインド向けの輸出が容易になる（日本から中国への輸出は、例えば、完成車は25%、日本酒は40%等、高関税が課せられている品目が多い。RCEPによる関税引き下げで、中国輸出を拡大できる）。③使いやすい原産地規則が導入できる。④サービス業の規制緩和により、RCEP締結国に進出しやすくなる。等が挙げられる。

執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士  
 (公社)子どもの発達科学研究所 事務局長  
 (一財)日本総合研究所 客員研究員  
 浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org